

# 履歴残し処理概要

toBeマーケティング株式会社



# 1) (事前準備) 履歴残し管理用の項目を作成

## Salesforce (リード/取引先責任者)、Pardotそれぞれに管理用項目を作成

Pardotカスタム項目名	Pardot_Field	Salesforce_Field	データ型	備考
【テスト】更新チェック	Num_Rireki	Num_Rireki__c	Number	Use Pardot's value
【テスト】お問い合わせ内容	YourInquiry	YourInquiry__c	Textarea	most recently updated

Salesforce_リード/取引先責任者 項目名	Pardot_Field	Salesforce_Field	データ型	リード取引開始項目の対応付け
【テスト】履歴残しフラグ	-	Check_Rireki	Checkbox	不要
【テスト】更新チェック	Num_Rireki	Num_Rireki__c	数値(4、0)	取引先責任者も履歴残しする場合必要
【テスト】お問い合わせ内容	YourInquiry	YourInquiry__c	テキストエリア(255)	任意

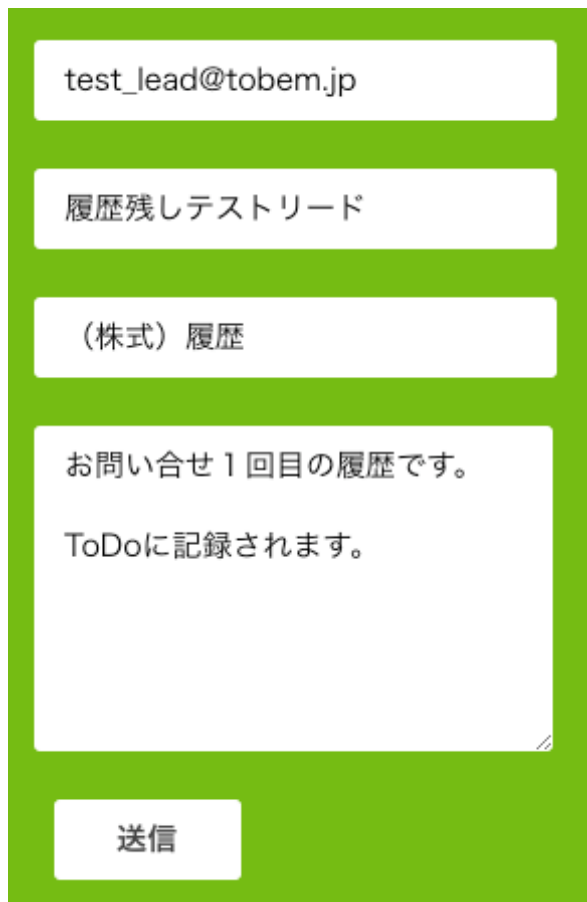
Salesforce_ToDo項目名	Pardot_Field	Salesforce_Field	データ型	備考
【テスト】お問い合わせ履歴	-	YourInquiry_History__c	テキストエリア(255)	

- ・今回の例では、リードおよび取引先責任者のお問い合わせ内容を履歴に残します
- ・以下2項目は、SalesforceとPardotの項目連携を設定します
  - 【テスト】更新チェック (Pardot優先設定)
  - 【テスト】お問い合わせ内容 (Pardot優先か、最新の更新データを優先)

- ・リード取引開始項目の対応付けで【テスト】更新チェック は対応付けを忘れずに行ってください  
↳対応付けを忘れると取引の開始後、取引先責任者に問合せ内容が重複して履歴に残ります

## 2) フォームを通過した際の完了アクションをPardotで設定

### サンプルフォーム



test\_lead@tobem.jp

履歴残しテストリード

(株式) 履歴

お問い合わせ 1 回目の履歴です。  
ToDoに記録されます。

送信

### Completion Actions

Increment Prospect Field Value **【テスト】更新チェック by +1**

左のフォームを通過したら、上記項目（数値型）の値を+1加算して変更があったことをSalesforce側に渡します

### 3) PardotフォームからSalesforceにデータが投入される

 履歴残しテストリード

ページのカスタマイズ | レイアウトを編集する | 印刷用に表示 | このページのヘルプ ?

フィードを表示

▼ 基本情報

名前	履歴残しテストリード	リード所有者	 鈴木 智也 [変更]
電話		会社名	(株) 履歴カンパニー
メール	test_lead@tobem.jp  Gmail	役職	

メール送信除外 ☐

(テスト) メールアドレス移行前 (テスト) メールアドレス移行先

▼ 履歴残し

【テスト】更新チェック	1	【テスト】お問い合わせ内容	お問い合わせ1回目の履歴です。 ToDoに記録されます。
-------------	---	---------------	---------------------------------

【テスト】履歴残しフラグ ☐

Pardotで設定した完了アクションによって、  
値が0→1に変更された

## 4) トリガーとなるフラグが立ち、履歴残しを起動



### 履歴残しテストリード



ページのカスタマイズ | レイアウトを編集する | 印刷用に表示 | このページのヘルプ ?

フィードを表示

#### ▼ 基本情報

名前	履歴残しテストリード	リード所有者	 鈴木 智也 [変更]
電話		会社名	(株) 履歴カンパニー
メール	test_lead@tobem.jp  Gmail	役職	
メール送信除外	<input type="checkbox"/>		
(テスト) メールアドレス移行前		(テスト) メールアドレス移行先	

#### ▼ 履歴残し

【テスト】更新チェック	1	【テスト】お問い合わせ内容	お問い合わせ 1 回目の履歴です。 ToDoに記録されます。
【テスト】履歴残しフラグ	<input checked="" type="checkbox"/>		

1. 【テスト】更新チェックの値が変更されたことをトリガーにして、【テスト】履歴残しフラグをtrueに更新 (Salesforceのワークフロー)
2. 【テスト】履歴残しフラグのフラグがtrueに変更されたことをトリガーにして、履歴残しを起動 (Salesforceのプロセスビルダー)

## 5) 活動履歴に問合せ内容を記録し、フラグを元に戻す

履歴残しテストリード

ページのカスタマイズ | レイアウトを編集する | 印刷用に表示 | このページのヘルプ ?

フィードを表示

▼ 履歴残し

【テスト】更新チェック 1

【テスト】履歴残しフラグ ☐ ②

【テスト】 お問い合わせ内容 お問い合わせ 1 回目の履歴です。  
ToDoに記録されます。

活動履歴

活動の記録 差し込み印刷 Gmail を作成 すべて表示 活動履歴のヘルプ ?

アクション	件名	【テスト】 お問い合わせ履歴	状況	作成日時
編集   削除	WEBより問合せがありました	お問い合わせ 1 回目の履歴です。 ToDoに記録されます。	完了	2017/12/21 21:27

① リード項目【テスト】 お問い合わせ内容の値が、活動履歴の【テスト】 お問い合わせ履歴項目にコピーされた

② 【テスト】 履歴残しフラグをfalseに戻して終了

## (参考) ワークフロールール (リード)

リードのワークフローは新規レコード作成時に【テスト】更新チェック項目の値が空白でない、もしくは【テスト】更新チェック項目の値が変更された時にフラグを立てる。

ワークフロールール

【テスト】履歴残しフラグ\_true\_lead

[このページのヘルプ ?](#)

### ワークフロールールの詳細

[編集](#) [コピー](#) [無効化](#)

ルール名	【テスト】履歴残しフラグ_true_lead		オブジェクト	リード
有効	✓		評価条件	レコードが次の場合にルールを評価 作成されたとき、および編集されるたび
説明				
ルール条件	OR( AND( ISNEW(), NOT( ISBLANK( Num_Rireki__c ) ) ), ISCHANGED( Num_Rireki__c ) )		OR (AND( ISNEW(), NOT( ISBLANK( Num_Rireki__c ) ) ), ISCHANGED( Num_Rireki__c ) )	
作成者	鈴木 智也, 2017/12/21 18:28		更新者	鈴木 智也, 2017/12/26 22:05

### ワークフローアクション

[編集](#)

#### ルール適用時のアクション

種別	説明
項目自動更新	履歴残しフラグ true

## (参考) ワークフロールール (取引先責任者)

取引先責任者のワークフローは【テスト】更新チェック項目の値が変更になった時のみフラグを立てる。  
(Pardotから新規で取引先責任者を作成することは無い、リードの取引開始時に重複して履歴が残るのを避けるため)

ワークフロールール

[このページのヘルプ ?](#)

### 【テスト】履歴残しフラグ\_true\_contact

※ 最後に開いたビュー: ワークフロールール

#### ワークフロールールの詳細

[編集](#) [コピー](#) [無効化](#)

ルール名	【テスト】履歴残しフラグ_true_contact	オブジェクト	取引先責任者
有効	<input checked="" type="checkbox"/>	評価条件	レコードが次の場合にルールを評価 作成されたとき、および編集されるたび
説明			
ルール条件	ISCHANGED( Num_Rireki__c ) → ISCHANGED( Num_Rireki__c )		
作成者	難波 歩里, 2017/12/25 13:23		更新者 鈴木 智也, 2017/12/26 21:27

#### ワークフローアクション

[編集](#)

##### ルール適用時のアクション

種別	説明
項目自動更新	履歴残しフラグ true



## (参考) ワークフローアクション

### リード/取引先責任者 共通設定

項目自動更新

履歴残しフラグ\_true

« 最後に開いたビュー: リード

[この項目自動更新を使用するルール \[1\]](#) | [この項目自動更新を](#)

#### 項目自動更新の詳細

編集

削除

名前	履歴残しフラグ_true
一意の名前	Check_Rireki_true
説明	
オブジェクト	リード
更新する項目	リード: 【テスト】 履歴残しフラグ
項目データの種別	チェックボックス
項目変更後にワークフロールールを再評価する	<input type="checkbox"/>
新規項目値	True

編集

削除

# (参考) プロセスビルダー 条件

## リード/取引先責任者 共通設定

プロセスビルダー - 【テスト】履歴残し\_lead

すべて展開 すべて折りたたむ 全てのプロセスを表示 コピー プロパティを表示 無効

このアクショングループの条件を定義

条件名 \* ⓘ  
履歴残しフラグ\_true

アクションの実行条件 \*

- ☐ 条件を満たしている
- ☐ 数式の評価が true になる
- ☐ アクションを実行する条件がない

条件を設定

項目 *	演算子 *	種別 *	値 *
1 [Lead].Check_Ri... Q	次の文字列と一致	Boolean	True

条件 \*

- ☐ すべての条件に一致 (AND)
- ☐ いずれかの条件に一致 (OR)
- ☐ ロジックをカスタマイズ

▼ 詳細  
レコードに指定の変更が行われた場合にのみアクションを実行しますか? ⓘ  
☒ はい

【テスト】履歴残しフラグがTrue

# (参考) プロセスビルダー 履歴残し

## リード/取引先責任者 共通設定

プロセスビルダー - 【テスト】履歴残し\_lead

← 設定に戻る ? ヘルプ

すべて展開 すべて折りたたむ

すべてのプロセスを表示 コピー プロパティを表示 無効化 参照のみ ⓘ

開始

リード

履歴残しフラグ...  
TRUE → ルール適用時のアクション  
履歴残しフラグ\_false  
表示件数を減らす ▲  
+ アクションを追加

時間経過 → スケジュール済みアクション  
スケジュールを設定  
+ アクションを追加

FALSE

+ 条件を追加

TRUE → ルール適用時のアクション  
+ アクションを追加

停止

レコードを作成 ⓘ

アクション名 ⓘ  
問合せ内容コピー

レコードタイプ\*  
ToDo

項目値を設定

項目 *	種別 *	値 *
優先度	選択リスト ▼	中 ▼
状況	選択リスト ▼	完了 ▼
件名	文字列 ▼	WEBより問合せがありました
名前 ID	項目の参照 ▼	[Lead].Id 🔍
【テスト】 お問い合わせ履歴	項目の参照 ▼	[Lead].YourInquiry__c 🔍

リードの【テスト】 お問い合わせ内容の値を、  
ToDoの【テスト】 お問い合わせ履歴項目にコピー

# (参考) プロセスビルダー フラグ戻し

## リード/取引先責任者 共通設定

プロセスビルダー - 【テスト】履歴残し\_lead

← 設定に戻る ? ヘルプ

すべて展開 すべて折りたたむ

すべてのプロセスを表示 コピー プロパティを表示 無効化 参照のみ

開始

リード

履歴残しフラ...

TRUE

ルール適用時のアクション

問合せ内容コピー

履歴残しフラグ false

表示件数を減らす

時間経過

スケジュール済みアクション

スケジュールを設定

アクションを追加

レコードを更新

アクション名 \*

履歴残しフラグ\_false

レコード \*

[Lead]

レコードの更新条件 \*

☐ 更新されるレコードがすべての条件を満たす

☐ レコードを更新する条件がない

更新するレコードの新しい項目値を設定

項目 *	種別 *	値 *
【テスト】履歴残しフラグ	Boolean	False

【テスト】履歴残しフラグをfalseにして終了

## (参考) 履歴残しイメージ



履歴残しテストリード



ページのカスタマイズ | レイアウトを編集する | 印刷用に表示 | このページのヘルプ ?

フィードを表示

### 活動履歴

活動の記録

差し込み印刷

Gmail を作成

すべて表示

活動履歴のヘルプ ?

アクション	件名	【テスト】 お問い合わせ履歴	状況	作成日時
編集   削除	WEBより問合せがありました	お問い合わせ 2 回目の履歴です。 ToDoに 2 つ目が記録されます。	完了	2017/12/21 22:44
編集   削除	WEBより問合せがありました	お問い合わせ 1 回目の履歴です。 ToDoに記録されます。	完了	2017/12/21 21:27

## (参考) 提案時の注意事項

### ■ blogより抜粋

今回ご紹介する方法は、PardotフォームおよびSalesforce連携コネクタを使った処理概要になります。連携のタイミングは約2分に1回と言われますが、この2分間に連続でフォーム通過があった場合は、途中通過のデータは同期前に上書かれてしまうため、最後に通過した値がSalesforceに連携される点に注意してください。

また、活動履歴（ToDo）でロングテキストエリアのカスタム項目は作成できないことにも注意が必要です。（テキストエリアの255文字が限度となります）

デフォルト項目のコメント（Description）はロングテキストエリアとして使うことができますが、コメントを使うと、リード/取引先責任者の関連リストに表示することができませんので、活動履歴の階層まで見に行かなければなりません。文字数を取るか、一覧性を取るかといった判断が必要です。

# Thank You



toBe マーケティング